

常磐公園改修事業基本計画について

平成23年7月15日(金) 10:00～

旭川市役所第三庁舎旭川市保健所棟
1階 講座室

旭川市土木部公園みどり課

常磐公園について

< 公園の概要 >

常磐公園(公園区域)

面積 15.9ha

公園種別 総合公園

告示年月日 昭和31年10月15日(都市公園)

主な施設 池, 彫刻, 親水デッキ, プール, 駐車場, 水洗トイレ, 水飲場
駐輪場, 売店, 照明施設, 記念碑, 旧天文台, 常磐館,
図書館, 石狩川治水学習館, 美術館, 公会堂

特色 公園内は, 道立美術館, 公会堂など文化芸術拠点機能を持つ施設のほか, 中央図書館, 常磐館の文学資料館, 野外彫刻など文化芸術に関わりの深い要素が多く, 緑豊かな樹木や水鳥が浮かぶ千鳥ヶ池など, 市内中心部とは思えない自然豊かで静かな落ち着いた空間であり, また, 常磐公園北側の石狩川には, 旭川のシンボルでもある旭橋や河川敷の親水空間がある

< 公園の歴史 >

常磐公園は, 明治43年当初石狩川と牛朱別川に挟まれた中島に公園が造られ, 大正2年に冷害救助対策として池の掘削を行い, その後, 4年をかけて造成し大正6年に開園された。

その後, 昭和5年に牛朱別川の切替工事が行われ, 昭和8年には現在のような市街地に隣接した公園となった。

開園以来60年余りが経過し, 全般的に老朽化していることから, 昭和52年から61年までの10年間をかけ改修を行い, ほぼ現在の施設の整備が完了してる。

平成元年には, (社)日本公園緑地協会の「日本の都市公園100選」に選定されている。

< 明治36年地図 >



< 昭和7年地図 >



本事業の位置づけ

< 上位計画について >

中心市街地活性化計画

中心市街地の空洞化や地盤沈下を防ぎ、中心部への人の流れを再生するなど中心市街地の活性化を推進する計画

・基本計画の計画期間は平成23年3月～平成28年3月

かわまちづくり計画

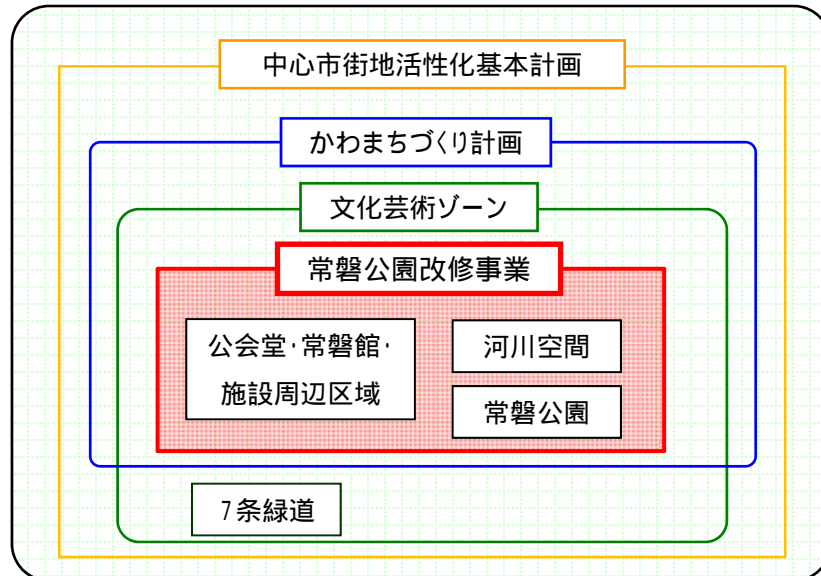
・石狩川や牛朱別川をはじめとする河川空間の自然環境を保全する

・都心部に河川と一体となったレクリエーション空間の整備をすすめる

・石狩川と隣接する常磐公園を中心に買物公園や見本林などの観光地とのネットワークを形成する



< 上位計画との関係 >



工事の予定

- 旭川開発建設部
- 常磐築堤改修工事(かわまちづくり事業)
- H23 物件補償
- H24 堤防緩傾斜化工事着手
- 旭川市
- 常磐公園改修事業
- H23 測量
- H24 実施設計, 工事着手(完了時期未定)

文化芸術ゾーン

< 経緯 >

背景

近年、中心市街地の求心力低下に伴い、常磐公園周辺地区の活力も低下しつつあり、今後も、この地域の賑わいが失われることが懸念されることから、**常磐公園周辺地区に多くの市民が集まるよう再整備を行い**、地区の魅力を高め、人の流れを作り出し、**中心市街地の活性化**に繋げていく必要性が高まっている

ねらい

この地域の特性は、「文化芸術」と「豊かな水と緑」という言葉で表すことができ、こうした特性を活かし、**文化芸術空間として、その魅力を高め**、今後多くの市民が訪れる地区となることを目指し、施設の改善や機能の向上を通して、市民の**文化活動の活性化を図る**ことをねらいとしている

< 経過 >

H20.11～H21.12 文化芸術ゾーン形成検討会議 全6回

文化芸術ゾーン整備方針(案)策定

H22.1～2 文化芸術ゾーン整備方針(案)
パブリックコメント実施

H22.2 文化芸術ゾーン整備方針策定

< 基本概念 >

常磐公園の東側に位置する公会堂、常磐館及び**七条緑道**や隣接する**石狩川・牛朱別川河川敷**など、文化・芸術的な地域資源に恵まれた区域

文化芸術空間としてその魅力を高め、今後、多くの市民が訪れる地区となるよう、改修整備を進めていく

< 整備方針 >

～ 地域資源を活かした文化・芸術を基調とする魅力ある都心空間の形成～

基本的な考え方

< 概要 >

文化芸術ゾーンとの関連性と位置づけ

文化芸術ゾーンでは、常磐公園の築堤及び文化施設周辺が整備対象となり、常磐公園は七条緑道や河川敷とを結ぶ重要箇所と位置づけられる

整備の考え方

動線確保やサイン設置等により、文化芸術ゾーンを結び回遊性を向上させる公園整備

一帯の現況や課題

- ・公園利用者以外の駐車が見られることもあり、全体的に駐車場が不足している
- ・公園の入り口の位置がわかりづらい
- ・樹木などによりうす暗いイメージの箇所が存在する
- ・立地の割に利用者数が少ない

主な整備内容

動線計画

・公園利用者が不自由しない駐車台数を確保した駐車場の整備

・ユニバーサルデザイン対応の動線の整備

サイン計画

・周辺から公園に導く案内の整備

・施設、樹種、彫刻の説明など内容がわかる案内の整備

緑化計画

・樹木の整理等による明るい公園イメージの形成

・花と樹木のバランスを図り、人が集まる公園の形成



基本的な考え方

< 概要 >

文化芸術ゾーンの中の位置づけ

公園と一体となった魅力ある都心(文化芸術ゾーンの中核となる)空間整備

整備の考え方

公会堂・常磐館の機能を強化するとともに、河川空間や常磐公園と**一体化**した整備

一帯の現況や課題

- ・施設周辺の駐車場が不足しているほか、図書館前道路の一時停車車両による**通行障害**が見られる
- ・周辺部から各施設への**案内標識の不足**が見られる
- ・各施設間の回遊性、常磐公園との一体性が弱い
- ・一定の役割を終えたオブジェや花壇などの取扱いを今後どうするか

主な整備内容

- ・石狩川治水学習館前に常磐公園東側エントランス広場の整備
- ・広場に文化芸術ゾーンにふさわしい樹木や彫刻の設置
- ・**広場へ導く**案内や誘導サインの設置
- ・老朽化した施設周辺等の舗装の改修
- ・利便性に優れた駐車場スペースの再配置
- ・スロープの設置など**段差解消**を行い、各建物と常磐公園内のアクセスの向上
- ・景観等を考慮し、オブジェや移動式花壇等、既存施設の撤去や再設置
- ・路上駐車を抑制するための**一時停車スペース**の設置



基本的な考え方

< 概要 >

文化芸術ゾーンの中の位置づけ

文化芸術ゾーンへの誘導機能や文化芸術の発表の場となる市民に親しまれる空間の整備

整備の考え方

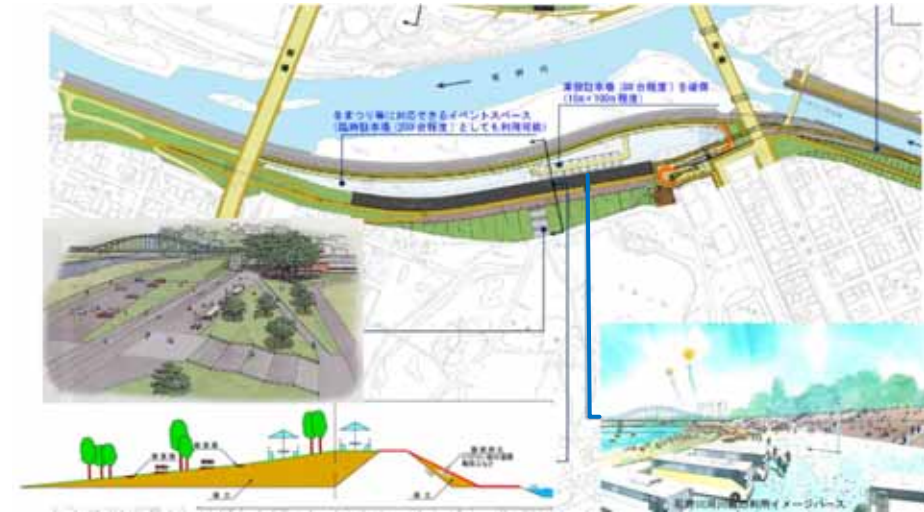
文化芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

一帯の現況や課題

- ・旭川冬まつりをはじめとして、年10回程度のイベントが開催されており、多くの市民に利用されているが、それ以外のときの利用が少ない
- ・日常的に散策、通勤、通学の動線として利用されている
- ・常磐公園と河川空間が分断され、一体性がない
- ・常磐公園は、旭川中心部の貴重なオープンスペースとして市民の憩いの場となっている一方で、石狩川の堤防付近は、樹木により暗い雰囲気となっている

主な整備内容

- ・多くのイベントが開催できる広場整備
- ・地区の駐車場不足を解消するために新たに駐車場の整備
- ・急勾配の堤防を緩傾斜化し、安全性の確保と常磐公園と河川敷との一体利用を可能とする
- ・安全で利便性の高い自転車・歩行者・自動車道の整備



現況写真

整備後イメージ



条件整理と検討課題

< 個別計画 >

条件整理・検討課題

文化芸術ゾーンへ導くサインの充実

- ・動線確保と回遊性の向上
- ・各施設機能との連携強化

文化芸術ゾーンとしての魅力を高める機能について

- ・園路、広場、休憩施設、サイン等のユニバーサルデザイン化
- ・公園周辺にある駐車場の配置バランス

老朽木や枯損木への対応と樹齢バランスに配慮した緑の再設置

- ・安全安心に配慮した緑のあり方



詳細整備内容と検討内容(案)

動線計画

・公園利用者が不自由しない駐車台数を確保した駐車場の整備

→配置バランス

・ユニバーサルデザイン対応の動線の整備

→段差解消箇所

・自動車、自転車、歩行者の安全性を確保した動線分離

→園路整備箇所、幅員の設定

サイン計画

・周辺から公園に導く案内の整備

・施設、樹種、彫刻の説明など内容がわかる案内の整備

→配置位置、内容

緑化計画

・樹木の整理等による明るい公園イメージの形成

→樹木の判別

・花と樹木のバランスを図り、人が集まる公園の形成

→配置位置、種類

その他

・街灯の整備、更新による安心安全な公園造り

→整備位置

条件整理と検討課題

< 個別計画 >

条件整理・検討課題

河川環境整備財団の解散に伴う、川のおもしろ館の閉館
(H25年3月末)

→河川空間をフィールドにした新たな河川愛護活動の展開

・緩傾斜化による河川空間との一体化と河川環境整備の充実

・川のおもしろ館閉館後の跡利用について

エントランス広場の整備と駐車スペースの確保

・エントランスや既存駐車場の再設置

・各種文化施設との機能連携とアクセス性の強化



詳細整備内容と検討内容(案)

・石狩川治水学習館前に常磐公園東側エントランス広場の整備

→エントランス広場の位置及び幅員等

・広場に文化芸術ゾーンにふさわしい樹木や彫刻の設置

→設置位置, 種類

・広場へ導く案内や誘導サインの設置

→サインの種類(案内, 誘導, 記名, 注意・禁止)

・老朽化した施設周辺等の舗装の改修

→施工範囲, 種類

・利便性に優れた駐車場スペースの再配置

→配置位置, 駐車台数, 駐車料金

・スロープの設置など段差解消を行い, 各建物と常磐公園内のアクセスの向上

→設置箇所, 幅員等

・景観等を考慮し, オブジェや移動式花壇等, 既存施設の撤去や再設置

→撤去するもの, 再設置するものの確定・再設置の詳細

・路上駐車を抑制するための一時停車スペースの設置

→設置箇所, 停車台数

条件整理と検討課題

< 個別計画 >

条件整理・検討課題

緩傾斜化による既存樹木，施設等への影響

- ・保存すべき樹木，伐採する**樹木の判別**と**補植**等による緑の再設置
- ・売店等，**利便施設の撤去**に伴い，**新たに付加すべき機能**や**施設の検討**

河川空間と一体化したオープンスペースの利活用方法の検討

- ・各種イベントの開催やオープンカフェ等，自由度の高い**包括占有**について
- ・賑わい創出に向けた**仕掛け**と**組織体制**について

詳細整備内容と検討内容(案)

- ・多くのイベントが開催できる広場整備
 - **舗装の種類等**
- ・地区の駐車場不足を解消するために新たに駐車場の整備
 - **設置位置，駐車台数**
- ・急勾配の堤防を緩傾斜化し，安全性の確保と常磐公園と河川敷との一体利用を可能とする
 - **樹木の判別と補植，緩傾斜化範囲**
- ・安全で利便性の高い自転車・歩行者・自動車道の整備
 - **新たな動線，幅員の拡幅**
- ・包括占有
 - **店舗種類，イベント内容，管理体制**

